

第691回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「I B Cニュースエコー」

2024年6月18日 (火)

(株) I B C 岩手放送

第691回IBC番組審議会

1. 開催日時 2024年6月18日(火) 午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長	田代 高章
副委員長	熊谷 志衣子
委員	新里 真士 柴田 千春
	龍澤 尚孝 後藤 高宏
	四戸 聡(レポート)
	高橋 司(レポート)

欠席委員の氏名

藤野 静枝
澤口 たまみ

会社側出席者

眞下 卓也	代表取締役社長
兼平 宗彦	取締役メディアセンター長
八木 宏樹	取締役編成局長
堀米道太郎	報道部長
竹本 和弘	報道部 ニュースエコー編集長

事務局

大志田 融	番組審議会事務局長
切替 郁恵	番組審議会事務局員
平澤 泰志	番組審議会事務局員

4. 議題

「IBCニュースエコー」

5月28日(火) 午後6:15～午後6:55放送

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ニュースエコーについては、ニュースを内容も偏りが無い感じで伝え、特集も入れながらあるいは社会的な課題など問題提起も含まれていて、よくできているニュース番組と評価している。

- チャグチャグ馬コを冒頭に持ってきたということで、アナウンサーの2人がすごく笑顔でにこやかに始まったところが印象に残った。

- 全般の印象として、すごくアナウンサーの方を安心して見ていられる。不要なコメントはなく、その表情とか話すスピードとか、とても安心して見ていられるところでいつも見ていて、親近感がある。

- 「岩手モデル」のニュースは大きい問題だと思うが、その岩手モデルに至ったその前提となる経緯とかいうものも、もう少し簡単に触れてから岩手モデルに入ってもよかったと感じた。その後の実践についても継続的にウォッチして欲しい。部活動の考え方自体も変わってきており、部活動の変化についても取材を期待する。

- 特集の「減の時代」は、人口減少という課題先進地の課題に正面から向き合っていて、わかりやすくまとめていた。問題の深刻さが伝わった。少子化対策での子育て世代への経済支援が必ずしも成果に結びついていない実態報告は関心をもって見られたと思う。取り組みに対し、ここまでやって駄目なのかっていう絶望感が結構伝わるような内容で終わるので、何か成功事例もあれば良かった。

- 大谷選手のすぐ後に贈収賄事件というニュースの配列はやや気になった。

- きょうどういうニュースを取り上げるのかというところで、ラインナップの一覧表示があると視聴者の皆さんにわかりやすいので、是非工夫をお願いしたい。